施工説明書

INAX

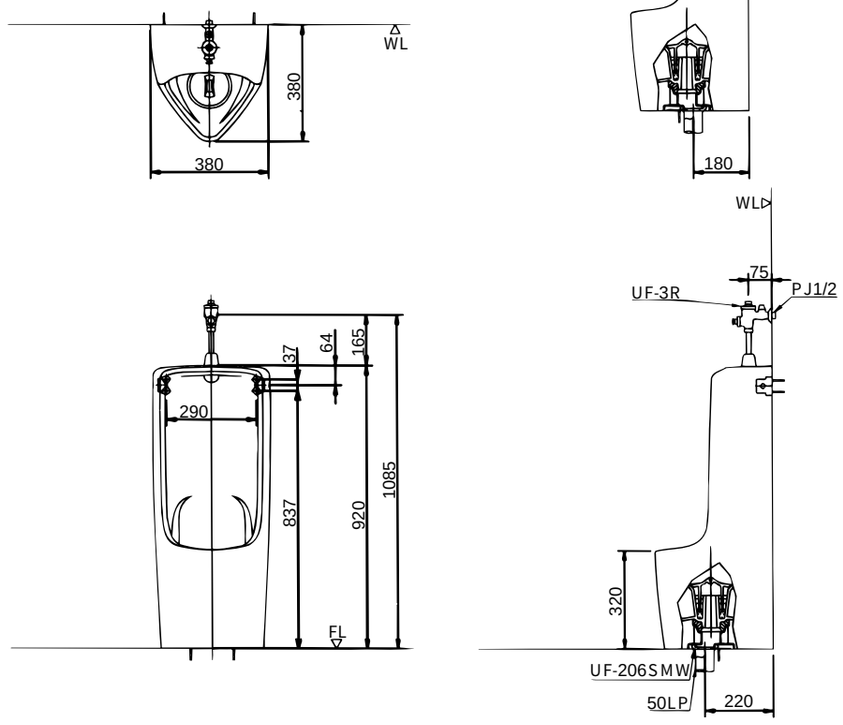
トラップ着脱式中形ストール小便器
トラップ着脱式小形ストール小便器

(G)U-321RM
(G)U-331RM

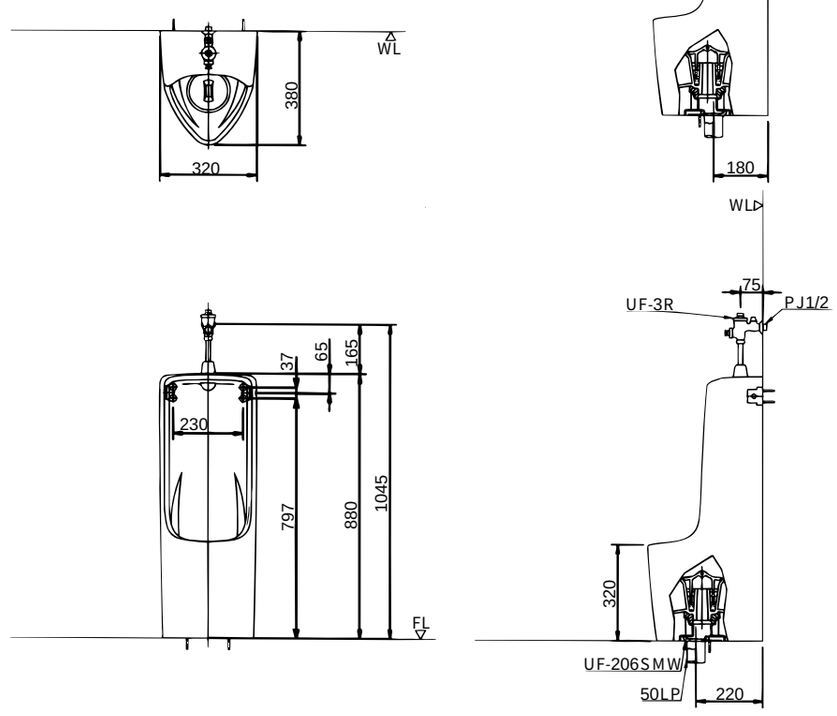
商品の機能が１００%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この説明書をお客さまににお渡しください。

●施工完了図

(G)U-321RM



(G)U-331RM



●安全上のご注意

- ●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ●施工終了後、正常に作動することを確認するとともに、お客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- ●この施工説明書はお客さまで保管頂くよう依頼してください。

用語の解説

注意 ・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ 注意

陶器は割れものです。
●施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。
●施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。
※破損部でケガをしたり、漏水により家財等を濡らす恐れがあります。

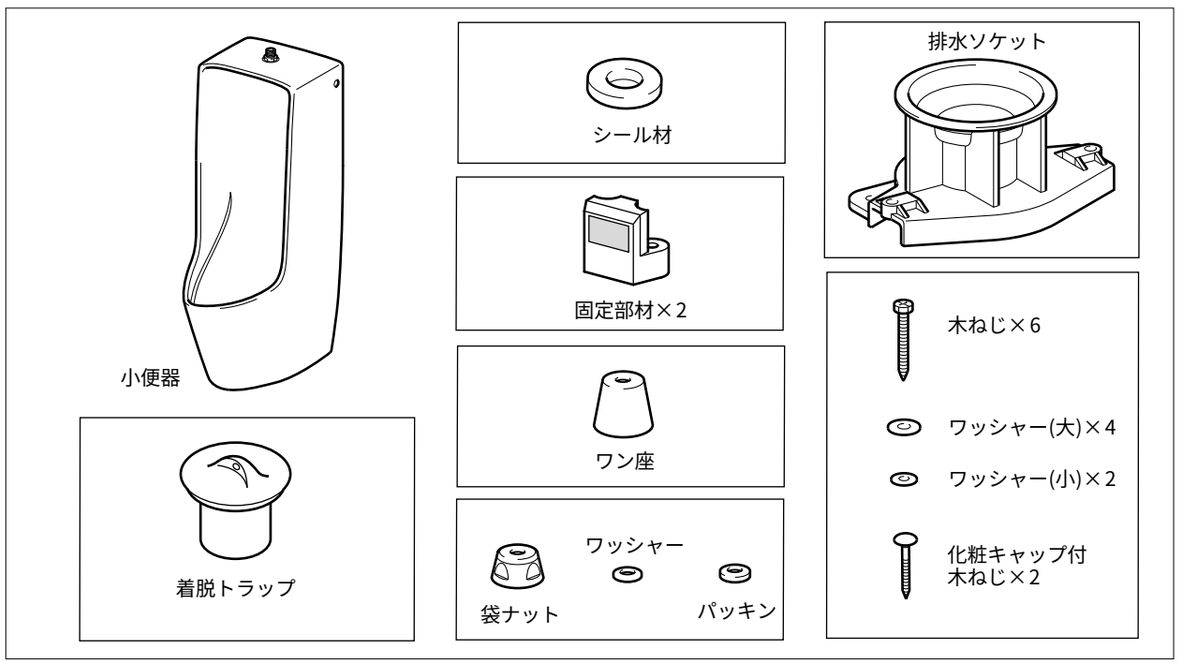
陶器に対するねじは締めすぎないようにしてください。
※陶器が割れてケガをする恐れがあります。

施工後に漏水検査を必ず行ってください。
※漏水により家財等を濡らす恐れがあります。

●施工前のご注意

- ●給水圧は、最低0.07MPa {0.7kgf/cm²} [流動時] 必要です。
  ※必要水圧が確保できないと十分な流量が確保されず、鉢洗浄ができなくなる場合があります。
- ●標準の排水芯（後壁から２２０mm）以外にも１８０mmに対応できますが、排水ソケットの設置方向が異なります。

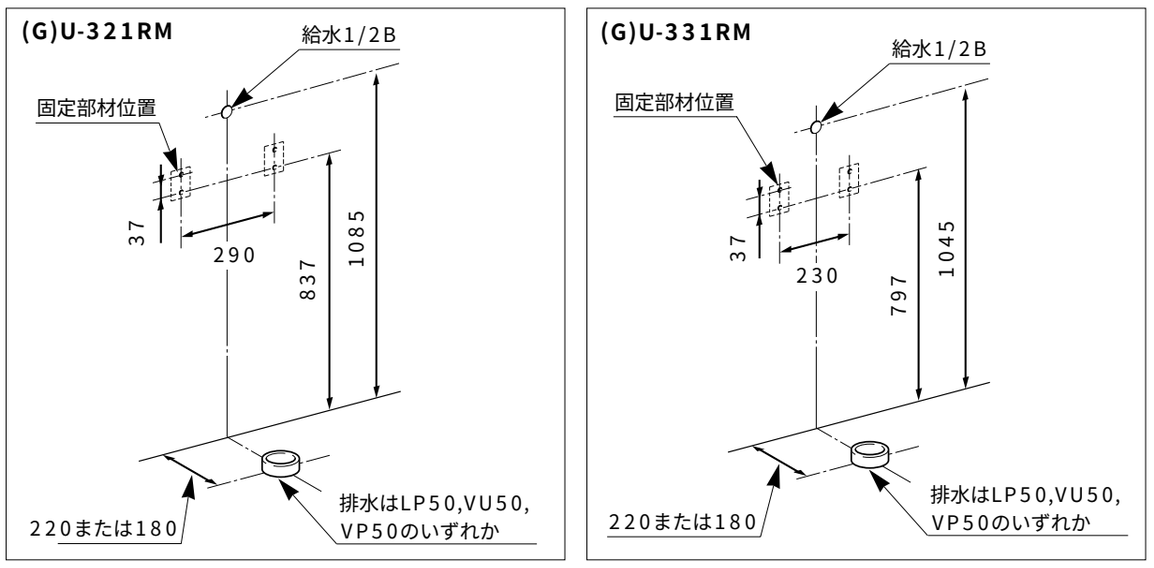
●部品の確認



●施工方法

1 給排水の位置決め、取出し

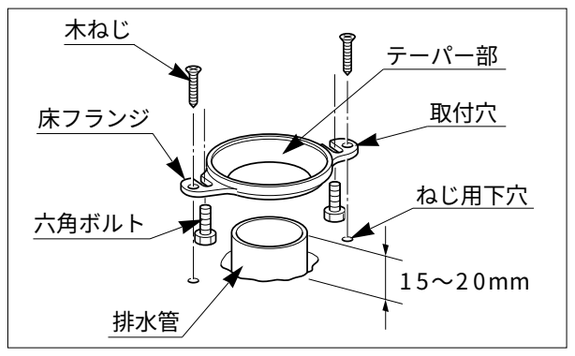
標準施工図に従って給水管・排水管を取り出してください。
※器具取り付け前に給水管、排水館内に異物が混入しないようにしてください。
※給水管にはプラグ（LF-7T）、排水管にはビニール袋等でカバーしてください。



2 排水フランジ（別手配）の取付け

【金属製フランジ（鉛管、塩ビ管用）の場合】

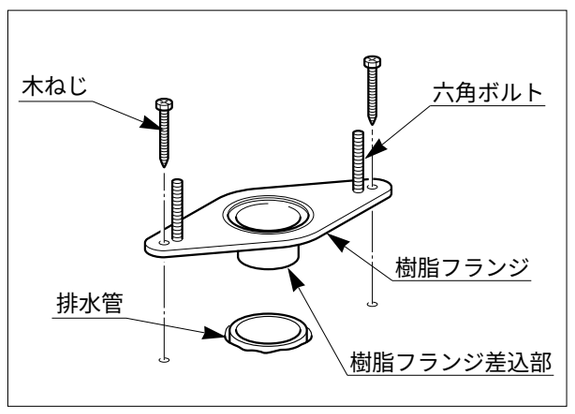
(1) 排水管を床仕上げ面上１５～２０mm確保して切断します。
※床フランジの取付けは必ず床仕上げ面上に行ってください。
(2) 床フランジのテーパー部が床の中に入るように排水管周囲をはつります。



(3) 六角ボルトをフランジの背面から通し、木ねじで床フランジを取り付けます。
※コンクリート床の場合はAYボルト（AY-21）を別途手配してください。
この場合、下穴（φ7.5、深さ45mm）をあらかじめ開けてください。
※2個の取付穴は後壁面と平行にしてください。
(4) 排水管をテーパー面に沿って亀裂、破損させないようにツバ拡げします。
※十分ツバ拡げできない場合はシールが不完全になる恐れがありますので、金属フランジと排水管のツバ部をハンダ付けしてください。

〔樹脂製フランジ（塩ビ管専用）の場合〕

(1) 塩ビ排水管を床面と同一面で切断します。
※排水ソケットの取付けは必ず仕上げ面上に行ってください。
※排水塩ビ管の切り口はバリが出ないように仕上げてください。
※切断位置が正確でないと漏水、臭気発生の原因になります。
(2) 六角ボルトをフランジ背面から通した床フランジの排水管差込しろおよび塩ビ排水管内面に塩ビ用接着剤を塗り、塩ビ排水管にしっかりと押し込み木ねじで床フランジを取り付けます。



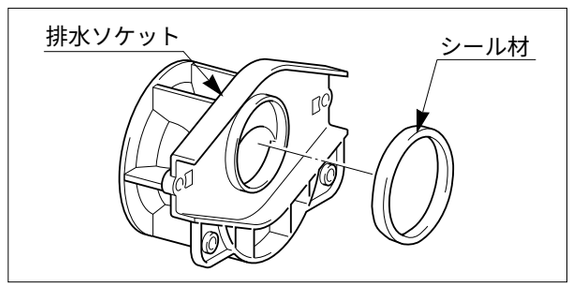
※塩ビ管用接着剤は接着シールと潤滑の両方の働きをしますので、必ず使用してください。
※接着が不十分ですと漏水、臭気発生の原因となります。
※コンクリート床の場合はAYボルト（AY-21）を別途手配してください。
この場合、下穴（φ7.5、深さ45mm）をあらかじめ開けてください。
※2個の取り付け穴は後壁面と平行にしてください。

商品・施工方法についてのお問い合わせは、(株)INAX　お客さま相談センター　☎ 0562-31-0793

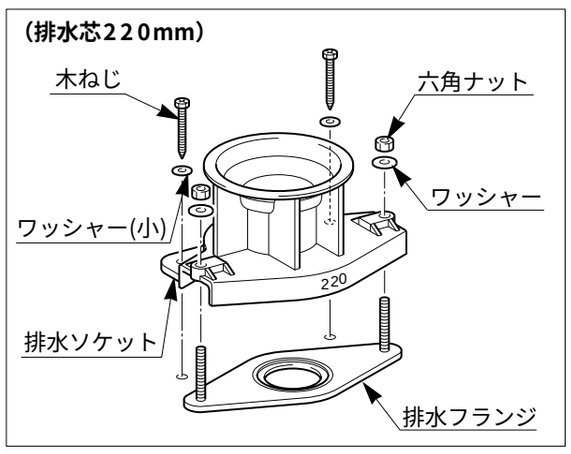
お客さま相談センターは、平日　「9：00～19：00」対応、
土日・祝日「10：00～18：00」対応（年末年始、夏季休暇は除く）となります。

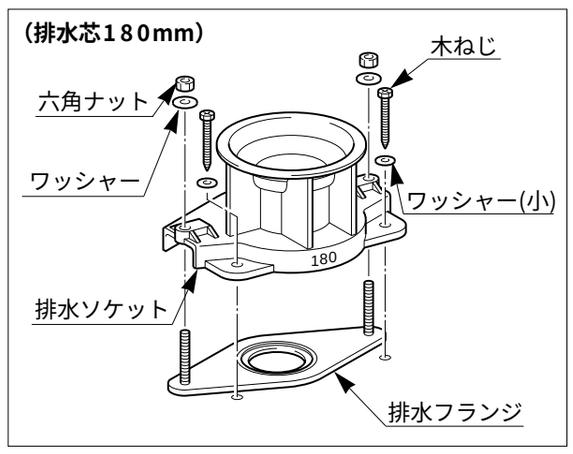
3　排水ソケットの取付け

(1) 排水ソケットの排水口に、排水フランジ（別手配）に付属しているシール材を取り付けます。
※排水口周囲の汚れ、湿気を十分に取り除いてください。
※シール材は、排水ソケット底面および排水口側面にしっかり密着させてください。



(2) 排水芯が２２０mmの場合は２２０の刻印がある方、１８０mmの場合は１８０の刻印がある方を正面にして、排水フランジのボルトを排水ソケットのボルト固定穴に通し、六角ナットと木ねじで排水ソケットを固定します。
※排水ソケットは必ず排水芯に合った方向で取り付けてください。
※床と排水ソケットのすき間がないようにナットを締め付け、接着を行ってください。
※接着が不十分ですと漏水、臭気発生の原因になります。
※コンクリート床の場合はAYボルト（AY-34W）を別途手配してください。
この場合、下穴（Φ11、深さ70mm）をあらかじめ開けてください。
※2個の取付穴は後壁面と平行にしてください。





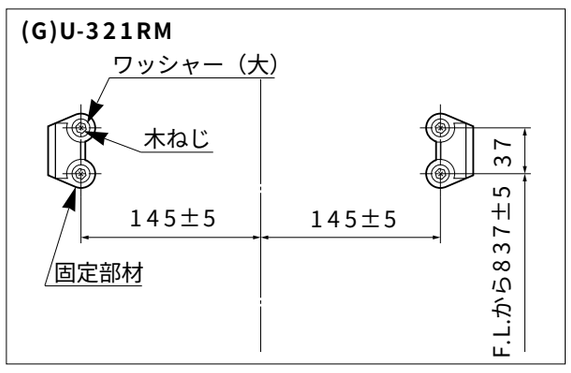
4　固定部材の固定

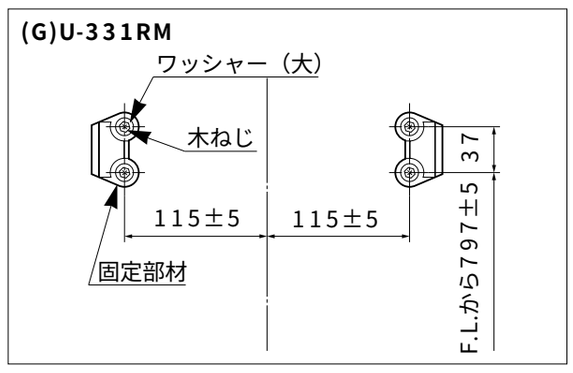
【(G) U-321RMの場合】

F.L.より837mmの高さで、左右に145mmの位置に固定部材下側の穴を合わせて、木ねじで2箇所固定します。

【(G) U-331RMの場合】

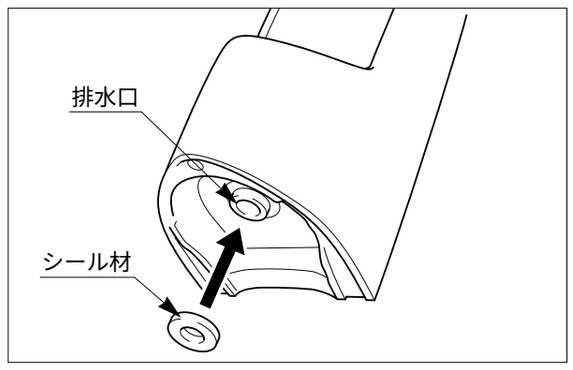
F.L.より797mmの高さで、左右に115mmの位置に固定部材下側の穴を合わせて、木ねじで2箇所固定します。
※2個の固定部材が水平になるようにしてください。
※コンクリート壁の場合はAYボルト（AY-34W）を別途手配してください。
この場合、下穴（Φ10.5、深さ70mm）を開けてください。



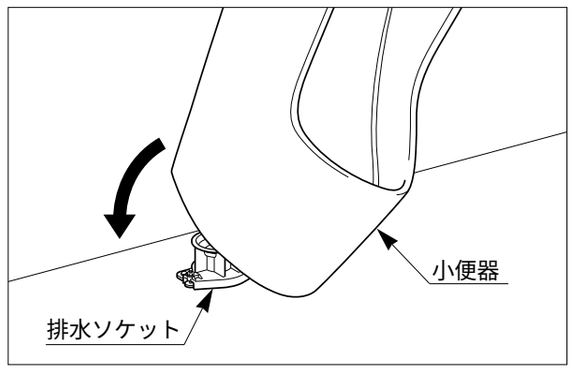


5　シール材の取り付けおよび小便器の固定

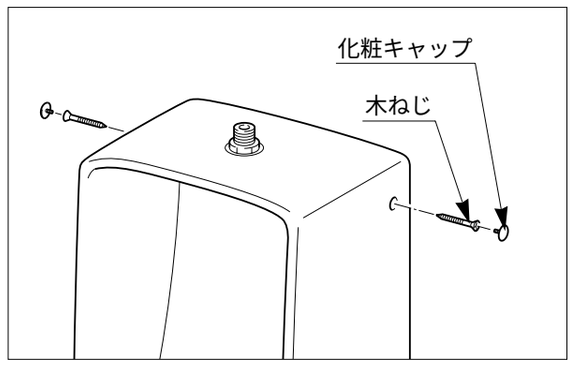
(1) 小便器の排水口に本体同梱のシール材を取り付けます。
※排水口周囲の汚れ、湿気を十分に取り除いてください。
※シール材は排水口の底面および側壁にしっかり密着させてください。
しっかり密着させないと、十分なシール性が確保できず、漏水の原因になる恐れがあります。



(2) 排水ソケットが小便器中央にくるようにして手前から小便器をかぶせ、床とのガタがなくなるまで押さえ込みます。



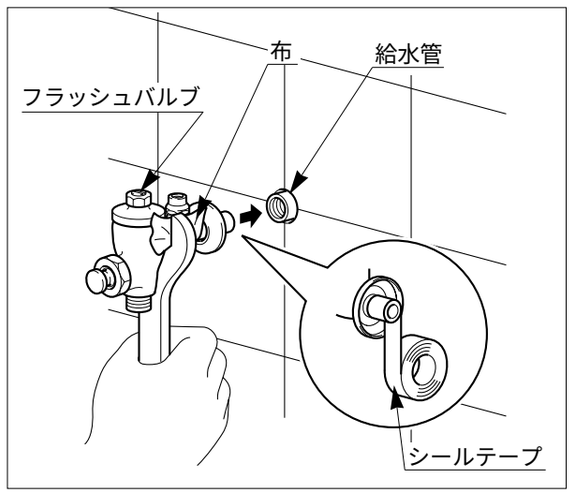
(3) 小便器の左右にある固定穴に木ねじを通して小便器を固定し、化粧キャップを取り付けます。
※陶器固定のねじは締めすぎないようにしてください。



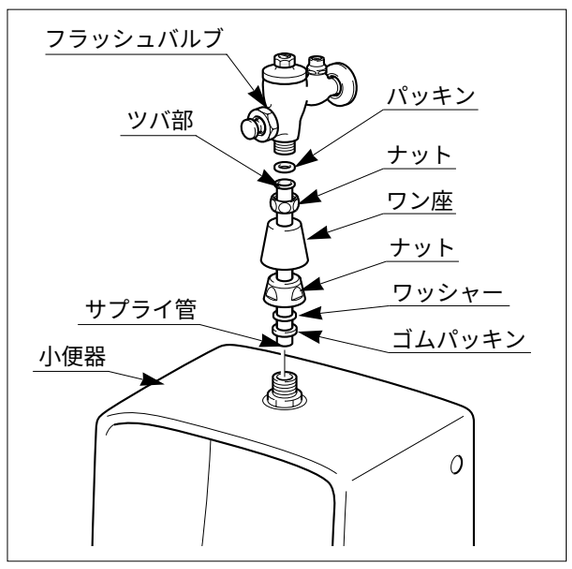
6　給水金具の取付け

【フラッシュバルブの場合】

(1) 壁面へ取り出した給水管にフラッシュバルブを取り付けます。
※ねじ部にシールテープ等のシール材を巻き付けてください。
※フラッシュバルブの表面に傷が付かないように、布等で保護してください。
※ピストンが上下できるように、垂直に取り付けてください。



(2) フラッシュバルブと小便器の間を、サプライ管にて給水接続します。
※ツバ部は絶対に切断しないでください。
※サプライ管の小便器への接続は現物合わせにて、差し込みしろとして10～20 mm残して切断してください。
※パッキンとゴムパッキンを付け間違えないようにしてください。



【自動洗浄システムの場合】

自動洗浄システムの施工説明書に従って取り付けてください。

7　水漏れ点検

給水金具を作動させ、給水接続部やフランジ部に漏水がないことを確認します。
※フランジ部は数回繰り返して水を流さないと、確認が困難な場合があります。

8　吐水量の調整

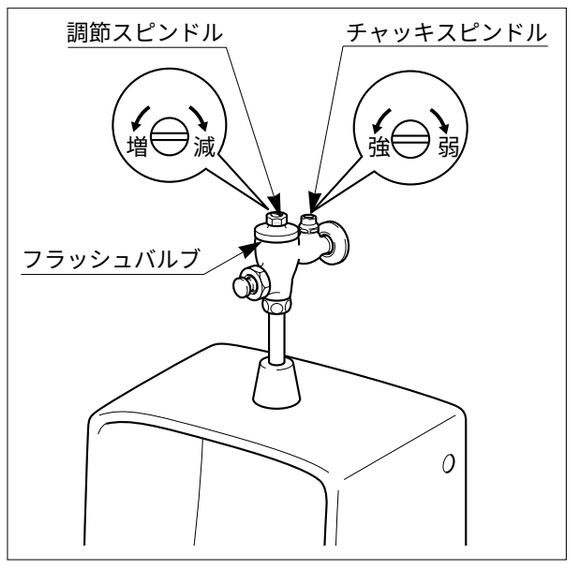
【フラッシュバルブの場合】

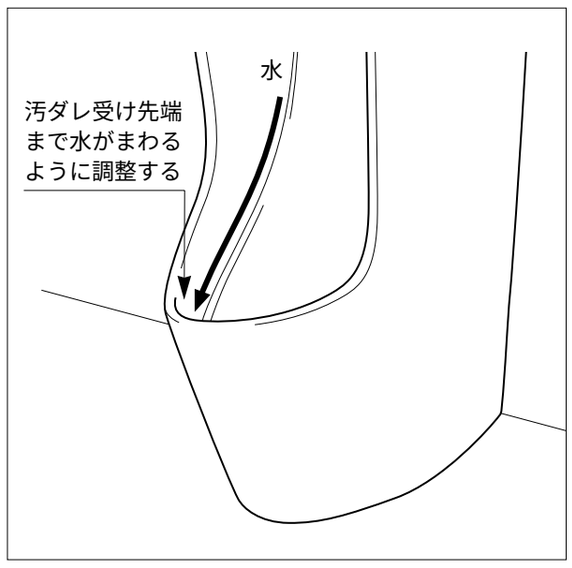
水勢の調整

(1) フラッシュバルブのチャッキスピンドルを全閉にします。
(2) 水を流しながら徐々にチャッキスピンドルを開けていき、小便器の汚ダレ受け先端まで水がまわるように調整します。
（左に回すと水勢は強くなり、右に回すと水勢は弱くなります。）
※水勢が強すぎますと、洗浄飛沫が多く発生する場合があります。

吐水量の調整

フラッシュバルブの調節スピンドルにて調節します。
（左に回すと吐水量は増加し、右に回すと吐水量は減少します。）





【小便器自動洗浄システムの場合】

洗浄モードの設定

スーパーAI節水モードに設定してください。
※設定の方法は、小便器自動洗浄システムの取扱説明書に従って設定してください。

水勢の調整

センサーの緑色ランプ（流量表示ランプ）が点灯の状態に調整してください。
※調整の方法は、小便器自動洗浄システムの取扱説明書に従って調整してください。
※AI節水モード、固定モードで使用される場合は「フラッシュバルブの場合」と同様の調整をおこなってください。
この時、緑色ランプ（流量表示ランプ）が点滅の状態になる事がありますが、異常ではありません。
※水勢が強すぎますと、洗浄飛沫が多く発生する場合があります。